2010年度のロジスティクス産学連携プログラムの実施状況について

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2008年度、2009年度に経済産業省から委託され、検討した「産学連携人材育成事業（サプライチェーン・ロジスティクス人材育成プログラム）」の結果を受けて、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました[1)]。またそれにあわせて、ロジスティクス産学連携プログラムを推進するための、「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」を物流科学研究所内に設置しました。プログラムの講師は、業界団体、企業のロジスティクス関連の専門家の方々にお願いしていますが、客員講師は50名弱となっております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、学部では「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の6科目、大学院では「ロジスティクス実践特論」、「ロジスティクス分析・改善特論」の2科目を開講しています。さらに関連する産学連携科目として、「日本通運寄附講座」、「全国通運連盟寄附講座」の2科目があります。ここでは、学部で開講しているプログラムの6科目について、2010年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。なお、ロジスティクス産学連携コンソーシアムの検討状況、プログラムに対する学生に対する評価については、次号に掲載予定です。

①「ロジスティクス実践講座」の2010年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクス・システムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは安全・安心といった新たな問題についても学びます。通年科目であり、新松戸キャンパスで講義をしていただき、龍ヶ崎キャンパスは遠隔授業のかたちで開講しました。各回のテーマ、講師は表－1のとおりです。

②「物流マネジメント実践講座」の2010年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、３ＰＬ等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで講義をしていただきました。各回の講座のテーマ、講師は表－2のとおりです。

表－1　「ロジスティクス実践講座」の2010年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学　洪京和
2	物流概説	日本ロジスティクスシステム協会　石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷	日通総合研究所　廣瀬吉英氏
4	物流改善のポイントは―1	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
5	物流改善のポイントは―2	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
6	都市内物流の効率化について	日通総合研究所　大島弘明氏
7	流通業におけるロジスティクスの展望	菱食　楠堂昌純氏
8	地球環境問題と国際化	みずほ情報総研　秋山浩之氏
9	味の素のロジスティクス	味の素物流　恒吉正浩氏
10	ロジスティクスと環境－1	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
11	ロジスティクスと環境－2	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
12	ハウス食品のＳＣＭの展開とロジスティクスシステム	ハウス物流サービス　早川哲志氏
13	日本の食品問屋について、環境負荷数値低減システム	国分　山田英夫氏
14	Millipore logistics	日本ミリポア　澁谷卓司氏
15	マーケットプレイスの仕組み	インフォマート　藤田尚武氏
16	変化に対応する花王のＳＣＭ	花王　山口裕人氏
17	カルビーのロジスティクス戦略と物流	スナックフードサービス　一山幸市氏
18	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送　結束洋氏
19	物流現場の活性化について	あんしん　雨宮路男氏
20	物流改善の営業事例	ロジスティクス・ネットワーク　立川哲二氏
21	食品製造業の品質管理と物流の現状と今後	田中食品興業所　平野祐人氏
22	ＪＲ貨物の現状	日本貨物鉄道　神立哲男氏
23	講義のまとめ	流通経済大学　洪京和

表－2　「物流マネジメント実践講座」の2010年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	講座受講に必要な知識①	流通経済大学　小野秀昭
2	講座受講に必要な知識②	流通経済大学　小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室　中田愛子氏
4	ヤマト運輸の物流革命	ヤマト運輸　齋藤博也氏
5	鉄道貨物輸送の仕組みとＪＲ貨物の取り組み	日本貨物鉄道　木林徳彦氏
6	ロジスティクス分野のＩＴ活用事例	野村総合研究所　足立研二氏
7	３ＰＬの役割と実例	川崎陸送　樋口恵一氏
8	経営戦略の中での物流の位置づけ / 役割	金方堂運輸　松本有司氏
9	重量品輸送（道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設）	日本通運　福島茂明氏
10	内航海運のいろいろ	海上技術安全研究所　加納敏幸氏
11	メーカーと物流子会社の関係・役割	味の素物流　恒吉正浩氏
12	講義のまとめ	流通経済大学　小野秀昭

表－3　「国際物流実践講座」の2010年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　林克彦
2	電気機械製造業者の国際物流管理（国際物流の動向、ロジスティクス・マネジメントの現状と課題）	東芝物流　手塚了嗣氏
3	電気機械製造業者の国際物流管理（海外展開事例、グローバル・ロジスティクスの事例）	東芝物流　手塚了嗣氏
4	商社の国際物流管理（ロジスティクス、SCM、海外進出事例）	住友商事　河野達也氏
5	商社の国際物流管理（商社の新たな物流戦略、戦略策定方法、国際物流事例）	住友商事　河野達也氏
6	船会社の国際物流戦略（外航海運の動向、海上輸送の仕組み、グローバル競争）	日本郵船　吉田芳隆氏
7	船会社の国際物流戦略（ロジスティクス戦略、SCM、国際物流戦略）	オーシャントランス　辰巳順氏
8	航空会社の国際物流戦略（国際航空貨物輸送の動向、航空貨物輸送戦略）	全日本空輸　片岡和民氏
9	航空会社の国際物流戦略（グローバルサプライチェーンにおける航空貨物輸送、国際物流戦略）	全日本空輸　片岡和民氏
10	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運　廣島秀敏氏
11	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運　合屋隆司氏
12	物流企業の中国展開	日本通運　寺田哲也氏
13	講義のまとめ	流通経済大学　林克彦

③「国際物流実践講座」の2010年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。秋学期に2単位科目として開講しました。新松戸キャンパスで講義をしていただき、龍ヶ崎キャンパスは遠隔授業によって開講しました。各回のテーマ、講師は表－3のとおりです。

④「情報システム実践講座」の2010年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流や流通などのロジスティクス分野における情報技術の活用について、インターネットや書籍からだけでは得にくい実システムの状況に触れ、内容や現状の課題などの理解を深めることを狙いとしています。講義は、各企業で現実のシステムの実務に携わっている企業の実システム経験者を招き、流通・物流でのIT化や情報化、システム化のための手法と現場での実用状況を学びます。半期科目（2010年度は、秋学期開講）で、新松戸キャンパスで講義を、龍ヶ崎キャンパスでは遠隔授業のかたちで開講しました。各回のテーマ、講師は表－4のとおりです。

⑤「ロジスティクス企業訪問講座」の2010年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解する

表－4　「情報システム実践講座」の2010年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス、クラウドコンピューティング	流通経済大学　関宏幸
2	リーマン・ショック後に於けるロジスティクス戦略	日本ビジネスロジスティクス　傘義冬氏
3	物流 EDI	日本ロジスティクスシステム協会　ＪＩＬＳ総合研究所 吉本隆一氏
4	ロジスティクスと情報システム	日本ユニシス　石渡靖人氏
5	自動認識技術の物流への応用	ＭＴＩ　粟本繁氏
6	電子自治体の推進について	地方自治情報センター　井上賀博氏
7	ロジスティクスを支える情報システム	日本ビジネスクリエイト　後藤一孝氏
8	物流効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所　要藤洋文氏
9	ＴＭＳの現状と今後の課題（輸配送管理システム）	光英システム　葦津嘉雄氏
10	ソフトウェア開発の現場 プロジェクト・マネジメントの現状と問題点	日本アルゴリズム　岩本茂子氏
11	ロジスティクスと情報技術	フレームワークス、多摩大学大学院　高井英造氏
12	無線タグ	日本パレットレンタル　永井浩一氏
13	携帯情報デバイスの動向　講義のまとめ	流通経済大学　関宏幸

表－5　「ロジスティクス企業訪問講座」の2010年度の実施結果

回	テーマ	訪問先、講師
1	ガイダンス	流通経済大学　洪京和
2	食品メーカーの物流センター見学	ハウス食品首都圏統括支店
3	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	十和運送
4	物流改善事例の説明、物流機器の見学	トヨタＬ＆Ｆカスタマーズセンター
5	フェリーターミナルの見学	オーシャントランスフェリーターミナル
6	国際航空貨物専用の物流センターの見学	日本通運東京航空支店
7	外資系企業の国際航空貨物による物流センター見学	日本ミリボア物流センター
8	鉄道貨物駅の見学	東京貨物ターミナル駅
9	江戸時代から昭和までの物流の歴史を紹介	物流博物館
10	食品メーカーの物流センター見学	味の素川崎物流センター
11	日雑メーカーの物流センター見学	花王扇島物流センター
12	小売店向け物流センターの見学	センコー
13	国際物流総合展の見学	東京ビックサイト

ことを目標としています。2010 年度は 12 箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。企業訪問を実施することから、2010 年度は、夏季休暇中の 9 月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表－ 5 のとおりです。

⑥「ロジスティクス改善演習」の2010年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目、夏季集中講座として、竜ヶ崎キャンパスと新松戸キャンパスで実施し、物流の現場を理解するために物流企業も見学します。各回の内容は次のとおりです。

表－6　「ロジスティクス改善演習」の2010年度の実施結果

回	項目	内容
1	ロジスティクス改善演習ガイダンス	講義の概要、目的、評価方法の理解、日程および訪問場所の確認
2	物流施設見学１	ハウス食品の物流施設を訪問し、物流設備や保管在庫などを見学
3	物流施設見学２	十和運送の物流施設を訪問し、物流設備や保管在庫などを見学
4	物流システム見学	物流設備や保管在庫などの物流システムを見学し、物流改善に関する講義を受講
5	物流現場シミュレータによる設備設計１	見学した物流施設を想定し、物流現場シミュレータ上で物流施設内のラック配置を再現
6	物流現場シミュレータによる設備設計２	物流現場シミュレータを用いて、物流施設内のラック配置の改善案を検討
7	物流現場シミュレータによる設備設計３	現状および提案した改善案を評価
8	物流シミュレータ RALC・入門１	物流シミュレータ RALC の基本操作を習得
9	物流シミュレータ RALC・入門２	物流シミュレータ RALC の基本操作を習得
10	物流シミュレータ RALC・モデル作成１	物流現場シミュレータで検討した改善案をもとに、RALC によるモデルを作成
11	物流シミュレータ RALC・モデル作成２	物流現場シミュレータで検討した設備改善案をもとに、RALC によるモデルを作成
12	物流シミュレータ RALC・シミュレーション１	作成した RALC モデルにより、シミュレーションを行い、改善案を評価
13	物流シミュレータ RALC・シミュレーション２	作成した RALC モデルにより、シミュレーションを行い、改善案を評価
14	まとめ	レポートの作成

注

1）詳細は、矢野裕児「流通経済大学での産学連携によるロジスティクス人材育成の取り組み」物流問題研究 No.54 を参照のこと。